

濁った水 (1989)

LA BANYERA

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 スペイン

色彩 Color

時間 101分

初公開日 1990/11/30

公開情報 コムストック

【キャッチコピー】

姉と弟、セックスと殺人 近親相姦とオルガスムス すべて濁った水の罪…。

【解説】

弟の様子がおかしいと聞いて急いで帰郷したアンドレアは、そこで彼が一年前に丸一日だけの記憶を失っているという事実を聞かされる。驚いた彼女は原因を調べ始めるが……。かつて古代の哲学者タレスが“万物の全ての根源は水にある”と言ったように、本作では“水”というものを象徴的に用いて、それらを哲学的に扱っている。しかしながらその描き方は決して難解なものではなく、全編を幻想的な映像で彩られた、透明感のある雰囲気のススペンス風の物語となっている。表面的に楽しむことも出来るし、奥に入り込めば実に深いテーマを内在している、良質の作品。

【クレジット】

監督	ヘスース・ガライ	Jesús Garay
脚本	ヘスース・ガライ	Jesús Garay
	グスタボ・ヘルナンドス	
	リカール・フィゲレス	
撮影	ユレンス・スレー	
音楽	ハビエル・ナバレテ	Javier Navarrete
出演	ムンサ・アルカニス	
	ペップ・ムンネ	Pep Munné
	メルセデス・サンピエトロ	Mercedes Sampietro